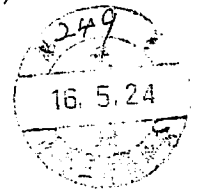


福島医発第399号(地)

平成16年 5月21日



各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師
会 長 竹 嶋 康



「ウツタイン様式」に基づく記録票に係る調査統計について

標記の件につきまして、総務省消防庁より各都道府県消防防災主管部長宛に、「ウツタイン様式」に基づく心肺機能停止傷病者記録票に係る調査統計オンライン処理システムの導入に関する通知が発出されたことについて、厚生労働省から情報提供がなされた旨、日本医師会より別添のとおり連絡がありましたのでお知らせいたします。

本件は、救急救命処置等による救命効果の客観的・医学的な把握や評価、地域間・国際間の比較・検証をより正確に行うことを目的とし、平成15年10月に出された総務省消防庁「救急業務高度化推進委員会」報告書（平成15年11月21日付（福島医発第1547号）の文書にて送付済み）における提言に基づくものです。

ウツタインシステムの運用に当たっては、医療機関との緊密な連携を図ることが留意事項として挙げられております。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了解いただきますとともに、貴会管下救急医療機関等への周知方よろしくお願い申し上げます。



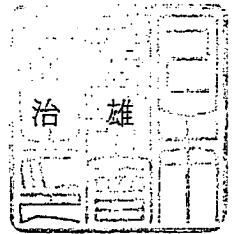
日医発第 143 号 (地 I 21)

平成 16 年 5 月 13 日

都道府県医師会長 殿

日本医師会長

植 松



「ウツタイン様式」に基づく記録票に係る調査統計について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて今般、総務省消防庁より各都道府県消防防災主管部長宛に、「ウツタイン様式」に基づく心肺機能停止傷病者記録票に係る調査統計オンライン処理システムの導入に関する通知が発出されたことについて、厚生労働省から本会に情報提供がありました。

本件は、救急救命処置等による救命効果の客観的・医学的な把握や評価、地域間・国際間の比較・検証をより正確に行うことを目的し、平成15年10月に出された総務省消防庁「救急業務高度化推進委員会」報告書（平成15年11月13日付（地I176）の文書をもって貴会に送付済み）における提言に基づくものです。

ウツタインシステムの運用に当たっては、医療機関との緊密な連携を図ることが留意事項として挙げられております。

つきましては、貴会におかれましても、本件についてご了知いただくとともに、貴会管下救急医療機関への周知方につきご高配賜りますようお願い申し上げます。

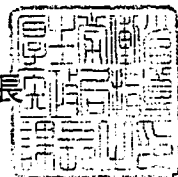


医政指発第〇４〇１〇〇２号

平成 16 年 4 月 1 日

(社) 日本医師会会長 殿

厚生労働省医政局指導課長



「ウツタイン様式」に基づく心肺機能停止傷病者記録票に係る調査統計
オンライン処理システムの導入について

厚生労働行政の推進につきましては、平素より格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

標記について、今般、別添の通り情報提供がございましたので、御了知いただきますとともに、会員各位に広く周知されることについて格段の御配意を賜りますようお願い申し上げます。

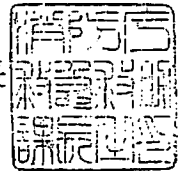


消防救第63号

平成16年4月1日

各都道府県消防防災主管部長 殿

消防庁救急救助課長



「ウツタイン様式」に基づく心肺機能停止傷病者記録票に係る調査統計
オンライン処理システムの導入について

救急救命士等による救命効果の比較検討については、「救急蘇生指標」の取扱いについて(平成6年4月1日付け消防救第43号)により実施されてきたところですが、今後、救急救命処置等による救命効果の客観的・医学的な把握や評価、地域間・国際間の比較・検証をより正確に行うために、「救急蘇生指標」を廃止し、「ウツタイン様式」に基づく心肺機能停止傷病者記録票に係る調査統計オンライン処理システム(以下「ウツタインシステム」という。)を導入します。

貴職におかれましては、この趣旨を御理解いただき、下記事項に御留意のうえ、貴都道府県内市町村(消防の事務を処理する組合を含む。)へこの旨周知されますようお願いします。

記

- 1 ウツタインシステムの運用開始は、平成17年1月1日とし、平成16年10月1日から試験運用を開始すること。また、「救急蘇生指標」については、平成16年中の調査で終了すること。
- 2 ウツタインシステムについては、既に運用が開始されている「火災報告等オンライン処理システム」を活用する形態であること。
- 3 ウツタインシステムの運用に当たっては、消防機関と医療機関の緊密な連携を図ること。
- 4 今後の救急救命士の処置範囲の拡大等に伴い、「ウツタイン様式」に基づく心肺機能停止傷病者記録票の項目を追加することがあること。

「ウツタイン様式」に基づく心肺機能停止傷病者記録票に係る調査統計
オンライン処理システムの導入について

1 概要

「ウツタイン様式」に基づく心肺機能停止傷病者記録票に係る調査統計オンライン処理システム（以下「ウツタインシステム」という）とは、救急業務高度化推進委員会報告書（平成15年10月）で示された「ウツタイン様式」に基づく心肺機能停止傷病者記録票の項目（以下「ウツタイン項目」という。）を、既に運用が開始されている、火災報告等オンライン処理システム（以下「火災報告システム」という）を基礎としたオンライン処理システムによって全国集計（消防防災専用回線を活用して消防庁の管理サーバに収集）するものです。

2 接続形態

「ウツタインシステム」は、「火災報告システム」を基礎としたオンラインシステムであるため、火災報告システムと同じ端末を利用することが可能です。

3 運用

(1) ウツタイン項目の入力

消防本部、救急隊は、事案発生後、ウツタイン項目をパソコンに入力します。救急隊が入力する場合は、公衆回線等を活用し消防本部に送付するか、フロッピーディスク等の電子媒体で消防本部に送付します。

なお、ウツタイン項目の入力に必要なとなるソフトは、試験運用に先立って各消防本部、救急隊に配布することを予定しています。

(2) オンラインシステムへのデータ登録

消防本部は、ウツタイン項目のデータを収集し、消防防災専用回線等を通じて、消防庁管理サーバに、収集したデータを登録します。

(3) 更新、削除

登録されたデータは、更新、削除が行えます。

(4) 集計処理

総務省消防庁は、基本的に1ヶ月ごと、四半期ごとに各消防本部が登録したデータの集計処理を行います。

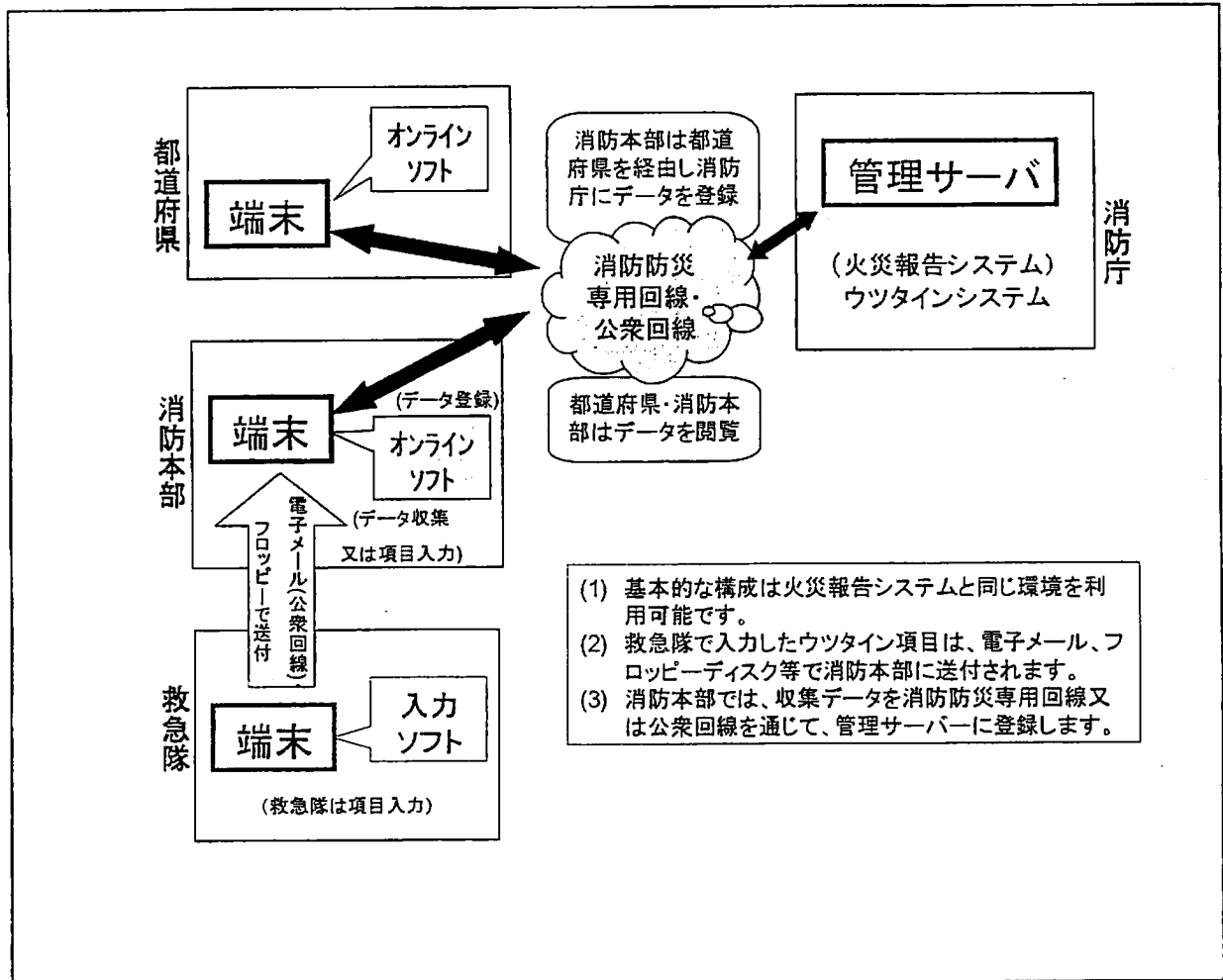
また、必要に応じて、随時集計処理を行います。

(5) 集計データの閲覧

都道府県、消防本部は、「消防防災専用回線」に接続された端末から、管轄区域内

のデータを閲覧できます。

5 概念図



別表 「ウツタイン様式」に基づく心肺機能停止傷病者記録票

事例No	_____	発生年月日	年	月	日	性別	☐ 男 ☐ 女	年齢	_____
		救急救命士運用 ☐ あり ☐ なし							

1. 心停止の目撃

- ☐ 目撃、または音を聞いた _____ 時 _____ 分
- ☐ 家族 ☐ その他のバイスタンダー(友人・同僚・通行人等)(_____)
- ☐ 消防隊 ☐ 救急隊(☐救急救命士隊)
- ☐ 既に心肺機能停止(発見時)

2. バイスタンダーCPR ☐あり (☐心臓マッサージ ☐人工呼吸) ☐なし ☐口頭指導あり

バイスタンダーCPR開始時刻 _____ 時 _____ 分 ☐確定 ☐推定 ☐不明

3. 初期心電図波形

- ☐ VF(心室細動) ☐ Pulseless VT(無脈性心室頻拍) ☐ PEA(無脈性電氣的活動)
- ☐ 心静止 ☐ その他(_____)

4. 救急救命処置等の内容

除細動(☐二相性 ☐単相性) ☐気道確保 ☐静脈路確保

初回除細動実施時刻 _____ 時 _____ 分 特定行為器具使用

施行回数 _____ 回 (☐ LM ☐ 食道閉鎖式エアウェイ ☐ 気管内チューブ)

☐ 異物除去(喉頭鏡、マギール鉗子による)

5. 時間経過

覚知 _____ 時 _____ 分 現着 _____ 時 _____ 分 接触 _____ 時 _____ 分 CPR開始 _____ 時 _____ 分 病院収容 _____ 時 _____ 分

6. 心停止の推定原因

- ☐ 心原性:☐確定 ☐除外診断による心原性
- ☐ 非心原性:☐脳血管障害 ☐呼吸器系疾患 ☐悪性腫瘍 ☐外因性 ☐その他(_____)

7. 転帰及び予後

・ 病院収容前の心拍再開 ☐あり ☐なし 初回心拍再開時刻 _____ 時 _____ 分

・ 1ヶ月予後 (回答:☐あり ☐なし)

・ 1ヶ月生存 ☐あり ☐なし

○ 脳機能カテゴリー(CPC)

☐ CPC1 機能良好

意識は清明、普通の生活ができ、労働が可能である。障害があるが軽度の構音障害、脳神経障害、不全麻痺などの軽い神経障害あるいは精神障害まで。

☐ CPC2 中等度障害

意識あり。保護された状況でパートタイムの仕事ができ、介助なしに着替え、旅行、炊事などの日常生活ができる。片麻痺、けいれん、失調、構音障害、嚥下障害。記憶力障害、精神障害など。

☐ CPC3 高度障害

意識あり。脳の障害により、日常生活に介助を必要とする。少なくとも認識力は低下している。高度な記憶力障害や痴呆、
“Locked-in”症候群のように眼でのみ意思表示できるなど。

☐ CPC4 昏睡

昏睡、植物状態。意識レベルは低下。認識力欠如。周囲との会話や精神的交流も欠如。

☐ CPC5 死亡、もしくは脳死

○ 全身機能カテゴリー(OPC)

☐ OPC1 機能良好

健康で意識清明で正常な生活を営む。CPC1であるとともに脳以外の原因による軽度の障害。

☐ OPC2 中等度障害

意識あり。CPC2の状態。あるいは脳以外の原因による中等度の障害、もしくは両者の合併。介助なしに着替え、旅行、炊事などの日常生活ができる。保護された状況でパートタイムの仕事ができるが厳しい仕事はできない。

☐ OPC3 高度障害

意識あり。CPC3の状態。あるいは脳以外の原因による高度の障害。もしくは両者の合併。日常生活に介助が必要。

☐ OPC4 CPC4に同じ。

☐ OPC5 CPC5に同じ。